

# 会長挨拶

松本留男



未曾有のコロナ禍の中で、今年度が始まった訳ですが、地区として地域として何をどうやっていけば良いのか、戸惑っています。しかしまず一番大切なことは、自分がコロナに掛からないようにすること、その為に、言われている予防基本策を確実に遵守することです。

第二に万が一掛かってしまったとしたら定められた受診手順を正しく受けることは言うまでもありませんが、無症状のうち他人に移してしまわないように、これも予防基本策を常に確実に実施していかなくてはなりません。

この予防基本策とは、三密防止、消毒、手洗い、マスク、換気です。特に地域の福祉活動、自治会活動に携わる方は、日常からこの基本を必ず遵守するようにお願い致します。

自治連としても自粛期間中はその徹底に青パト巡回や消毒薬の配布等もやってきましたが、豪

雨災害のシーズンを迎え、災害時の避難所の三密をどうやって防ぐかが課題となっています。昨年の例からも、地区内他町の安全な避難所提供があれば三密防止に大きな効果となります。

又災害時での高齢者等の弱者救援も大きな課題ですが、やはり災害救援対策で最も基本で大切なものは、隣近所の助け合い・支え合い・普段からの交流です。コロナ禍で交流も自粛傾向がもたれませんが、前述の予防の基本策を遵守した上で日常交流を維持できたらと考えます。大変な状況が続くと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。

## 永年勤続・顕章表彰

本年は老人給食活動で長く頑張られた小池光子さんと仁木明子さん。お二人のコメントを頂きました。

### 小池光子さん(堀込町)

平成7年、ボランティア登録以来25年間、精一杯やり切ったと言っ気持ちはです。他の町内の方々との交流も含めて、班内皆和気合い合いで楽しく、無事故でやり遂げられたことがよかったですと思います。特別豪華な献立ではなくとも、作り立てのお弁

当を喜んで頂いてくれる高齢者の皆さんの笑顔を描くと元気が湧いてきて、楽しく活動ができました。



左 仁木さん 会長 右 小池さん

### 仁木明子さん(堀込町)

平成14年に登録以来18年間の給食作りでした。この間平成23年から6年間は委員長を拝命し、地区内からの大勢の委員の方々が和合して、安全に楽しく給食作りができるよう配慮しながら務めさせて頂きました。

毎月の給食作りや特に文化祭模擬店などで予期せぬことが結構生じ、判断・調整に苦慮した事も今では楽しい思い出です。家で骨折し今もリハビリ中で、長時間立つ事が出来ないため、退任させて頂きましたが、本当に健康第一を痛感しております。

## 令和2年度 山辺地区社協 役員

会長	松本留男(自)
副会長	石川昭二(自) 本橋裕一(倉)
	新井 明(民) 久保田英三(交)
	今泉備一(老) 三田忠良(協)
事務局長	樋口茂延(協)
常任理事	斎藤修一(協) 齋藤美代(協)
	岡田 朗(自) 箕輪省三(自)
	高瀬雅子(協) 新江義夫(協)
	柳沢 猛(鷹) 栗原 収(協)
	小林英一(協) 田中幸子(鷹)
	上岡恵子(民)
理事	麻生千明(自) 山本一八(自)
	坂本三郎(自) 堺本松枝(自)
	堀越輝夫(自) 堀越幹夫(自)
	山本順一(自) 波澤克博(自)
	島田恵造(自) 蛭田利栄(自)
	石原利男(自) 稲田克己(自)
	田中榮太郎(自) 金井 弘(自)
	椎名松俊(自) 古山 高(自)
	小暮 保(自) 櫻井龍美(自)
	岡野綾子(民) 落合かおる(民)
	阿久田操子(民) 須永ミチ子(民)
	尾崎雅治(民) 田部井久代(民)
	萩原恵美子(民) 富福百子(民)
	倉林順子(民) 西野治子(学)
	松葉みつ子(体) 須永利江(老)
	清水弘子(協) 橋本静江(協)
	金井幸子(協) 生澤きくえ(協)
	柴崎満子(協) 田島章廣(協)
	宮沢秀喜(協)
監事	菅 弘武(協) 小堀蒼洋(協)
事務局	樋口茂延 斎藤修一 齋藤美代
	高瀬雅子 新江義夫 柳澤 猛
	栗原 収 小林英一 田中幸子
	田島章廣 宮沢秀喜

# 「コロナ禍の下でのサロン活動」の取り組み 代表者交流会実施

当地区では高齢者ふれあいサロンの育成支援策として、十数年前より代表者交流会を開いてきています。運営者・サポーターの悩み・苦勞は多いが、これらを話して相談したり、他のサロンの内容を直に聞ける事は、大いに参考になり勇気も貰える。

本年は予想もできなかった新型コロナウイルスの蔓延により3月より地区内サロンは一斉に自粛としたが、6月からの一部規制緩和を受けて再開を模索する町内もあって、各サロンの再開への考え方等が地区内情報収集と安全対策の共通認識化、及び地区社協としての助成金前倒し支給の可否、をテーマとして、7月20日代表者会を実施した。

例年40名近い参加であるが、本年の特殊性から各サロン代表1名のみに絞つての参加、時間短縮もあり必要情報、特に「今年度の開催をどう考えているのか」の聴取を主目的に進行。各サロン代表の考え方を聴く前に、市社協としての方針・考え方を聴くこととしたが、これ

が、「コロナ禍の下でのサロン再開」の意義と安全対策について30分研修であった。

東京都下の医療センターが作成した「通いの場と新型コロナウイルス対策ガイド」を基本として説明。要約すれば「未病改善への通いの場の効果は大であるから、やり方を工夫改善し安全を確保して是非再開を」。このガイドはボランティアを含めて地域福祉活動に関わる方々にとつてはとも参考になる。

更に市内他地区の状況確認では7月迄に開催したという所は1割程という。これらを踏まえて12サロンの今年度の開催への考え方を聴く。

各代表の考え方を以下の3種に分類した。

- A、安全化への見通し不明の為、今年度は実施できない。(2サロン)
  - B、安全を確認できれば再開したい。(6サロン)
  - C、万全な対策を施し内容変えて実施していく。(4サロン)
- コロナ感染危機の中での開催

## 老人給食 7月実施 パンの缶詰を配布

安全確認としても重要な老人給食サービスは、3〜6月自粛せざるをえないままだった。コロナ感染予防基本対策としての短時間戸口訪問なら、自覚

ある民生委員ならばデイサービス等高齢者施設職員と同様に安全が確保できると判断していたものの、公民館調理室貸出し人数制限があり従来形式では当面実施出来ない状況にある。

民生委員の戸口訪問の見守り活動の一助になるよう給食委員会として種々検討、7月はやり方変えて実施した。激励のお手紙と、NASAの宇宙船にも採用された那須のパンアキモトのパンの缶詰の配布のアイデア。

選定理由は、一、おいしく、二、火を使わないこと、三、時節柄防災グッズである、四、社会福祉に貢献している

パン屋である、五、話題提供。アキモトの社会貢献の理念に感動して、当社協は一昨年、地区外研修で訪問した所です。



H30.8.2 パンアキモトにて